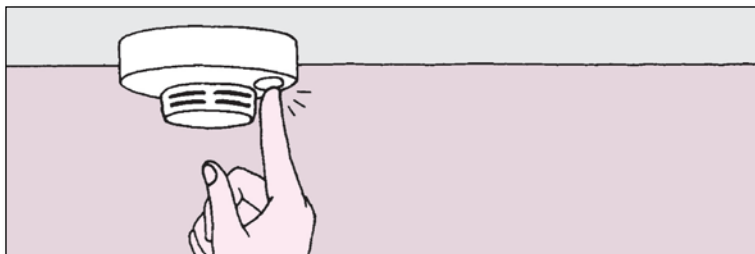


4 住警器の点検・お手入れ方法（維持管理）

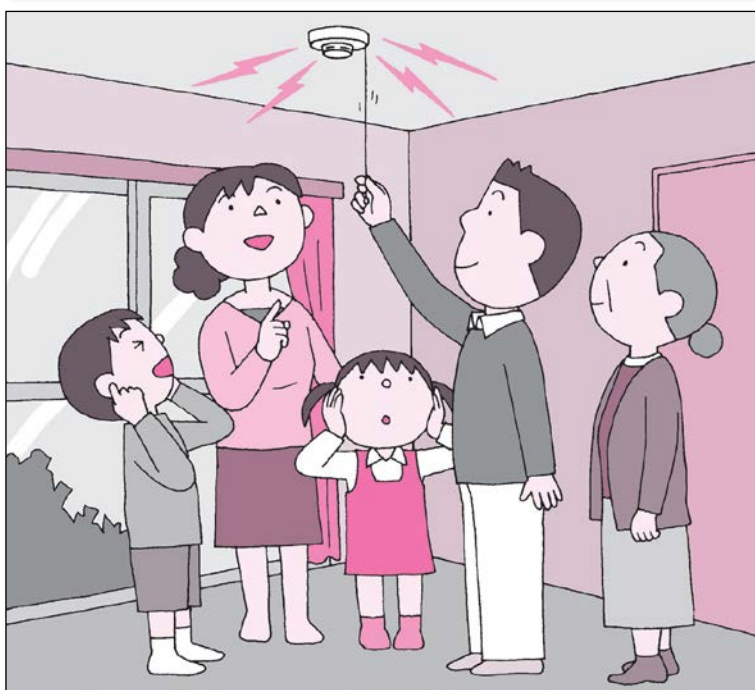
○ 点検方法

火災のときにきちんと作動するよう、定期的に点検を行いましょう。



「ボタンを押す」

又は

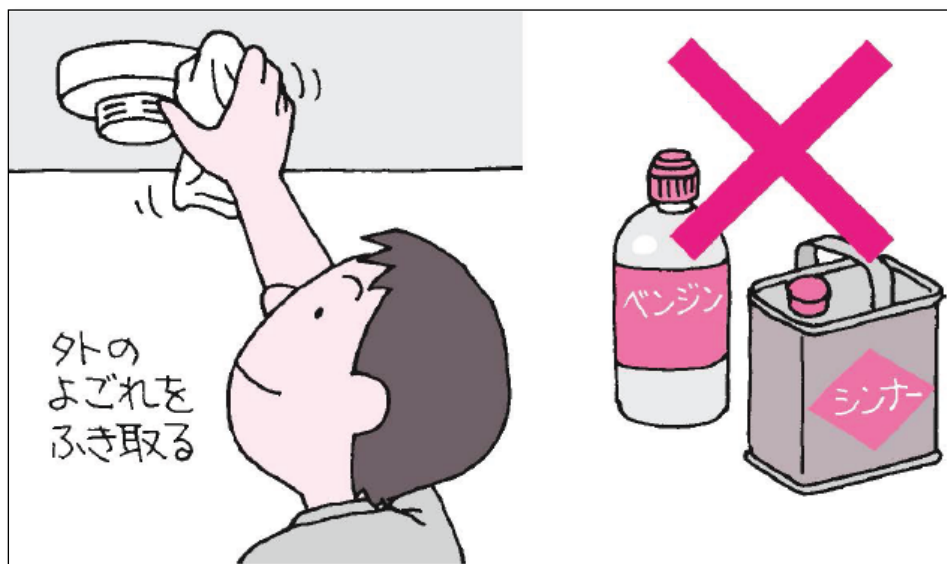


「引きひもを引く」

- ・ 住警器の「ボタンを押す」又は「引きひもをひく」ことで、警報音がきちんと鳴るかどうか、確認しておきましょう。
- ・ 作動点検時に警報音が鳴らないときは、電池切れや故障していることが考えられます。
- ・ 点検は、定期的に確認する時期を決めておくとよいでしょう。
- ・ 点検の際は、実際の警報音がどのようなものであるかを家族で確認しましょう。
- ・ 「電池を交換した後」、「お手入れを行った後」、「長期間留守にして戻った後」などにも、きちんと作動するかチェックしておくとう安心です。
- ・ 天井などに設置されている住警器の点検が高い所での作業になる場合は、安定した足場を確保するなど、転倒や落下に十分気を付けて行うようにしましょう。

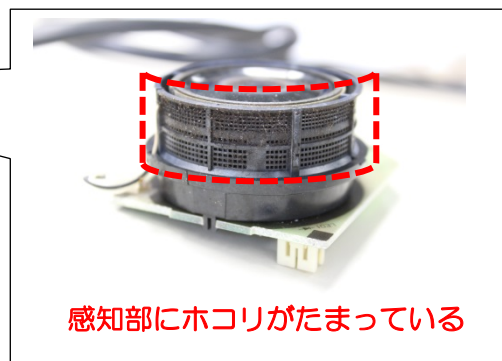
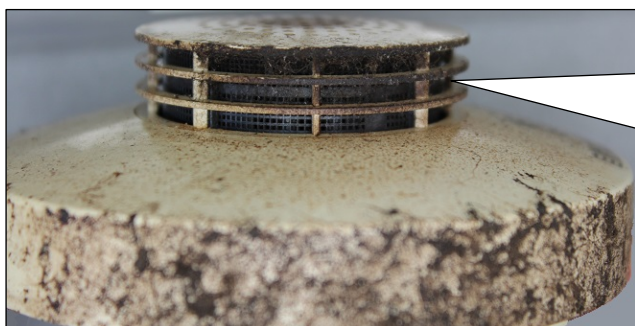
○ お手入れ

ホコリなどにより住警器が誤作動を起こしたり、火災を感知しにくくなったりすることを防ぐためには、日頃からの定期的なお手入れが大切です。



お手入れをするときには、次のようなことに注意しましょう。

- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤を使用して拭くことは、絶対にしないでください。
- 水洗いはしないでください。
- 機器を分解することで故障の原因となることがあります。お手入れする場合でも分解はしないようにしましょう。
- 天井などに設置されている住警器のお手入れは、高い所での作業になりますので、安定した足場を確保するなど、転倒や落下に十分気を付けて行いましょう。



写真：維持管理状態の良くない住警器の一例